

淡交会（ゴルフ）

サークル活動の歴史

挨拶

淡交会会長 町田昌司（昭和40年政経卒）

私が淡交会会長に就任したのは24年の1月です。就任以来、会員の団結、すなわち、会員が楽しく集い、楽しくプレーし、楽しく語らうことを、ずっと心に留めてきました。淡交会の活動は年4回の淡交会のコンペと年4回の対外コンペの二つです。淡交会のコンペでは最近参加者が減少していますが、30人前後の参加者が集い、熱戦を繰り広げ、その夜は懇親会で美味しいお酒と料理で大いに盛り上がります。対外コンペでは素晴らしいチームワークを発揮することで団体戦上位入賞の常連になっています。私は、このような会員の活動状況を目の当たりにするたびに、会員の団結の証を実感し、心の中で何事にも替えがたい大きな喜びを味わっています。会員の皆様にはこの機会をお借りしてあらためて感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

今後とも会員の団結のもとで、淡交会の歩みが50周年、100周年に到達するよう祈念したいと思います。



第86回淡交会ゴルフコンペ
29年6月6日泉カントリークラブ

2017/06

淡交会と私

堀内一夫（昭和 36 年商卒）

八千代稲門会のゴルフ愛好会を淡交会と言う由縁は創立者里田洋氏のゴルフ愛好会のあるべき理想をこの名称に託されているからです。荘子の言葉に“君子の交わりは淡き事水の如し”とあり、紳士のスポーツであるゴルフの更に上位の“君子”のゴルフを志向して早稲田マンの熱い永遠の交流を望まれていました。八千代稲門会と相前後して約 30 年前に始まっています。現在会員 40 余名、常時コンペ参加者 30 名前後と隆盛を極めるサークルとなっています。

私は 23 年前 57 歳の時に 8 人目の会員として入会しました。里田氏は気前のよい明るい人柄でコンペの後も楽しい酒杯を飲み交わしていましたが、70 歳を前にして早世されました。折しも稲門会幹事長吉松氏から淡交会の運営担当を打診され、二つ返事で引き受けました。最年長者鈴木榮三氏に会長をお願いして、最若輩の私は幹事長の名称を遠慮して事務局長と称して、雑巾がけ、下働きをモットーに全国稲門会トップのゴルフ同好会にするために約 10 年間知恵を出し汗を流しました。

まず最初に年一回のコンペを一挙に 3, 6, 9, 12 月の 4 回開催を提案して全員の賛意を得ました。コンペもペリアから淡交会独自のハンディ戦に切り替え、夜の宴会も表彰式カラオケと内容も充実した頃、北総地区の対外試合の話が持ち上がり、佐倉の松平氏、白井の津ヶ原氏と私が、具体的に話をまとめ北総稲門会（佐倉、成田、白井、印西、八千代）の対外コンペが 5, 11 月の年 2 回開催で立ち上がりました。当初は自然流会を恐れて淡交会は率先して常時最多人数の 13～15 名で参加し、北総大会の定着、隆盛に寄与しました。後年、鎌ヶ谷支部の熱意ある参加の申し出で認められて 7 支部対抗となり現在に至っています。

稲門の名前に拘わらず八千代地域の三田会、駿台会との親善コンペが大島氏から提案され、早慶明 O B の三校対抗を開催することになりました。この頃から千葉県稲門会コンペに常時参加するようになり、コンペ総数 8 試合でゴルフシーズンでは月一の活発な楽しい質量ともに充実した淡交会活動は盤石なものとなりました。

対外試合にはエンジの早稲田の帽子着装をお願いして、わが淡交会は常勝赤帽軍団と畏怖され優勝の常連となりました。この優勝賞金で淡交会会員のみでなく稲門会会員をもお誘いして、4 月の花見、8 月の花火の夕べを設けて野外宴会を楽しんでいます。有馬氏の手料理持ち込みもあり、幹事は場所取り買い出しと大変だが情緒あふれる風雅の飲み会を開催しています。

“朋有り稲門会より来る、また楽しからず乎”で私も男子の平均寿命 80 歳を迎



え、更に健康寿命の73歳は7歳も超えて、43歳の心筋梗塞、70歳の脳梗塞の二つの大病を克服し、今もコンペに参加しゴルフライフを楽しんでいます。淡交会の皆さまには心から感謝しつつ筆をおきます。

ゴルフ淡交会の思い出

大島英雄（昭和36年法卒）

八千代稲門会にゴルフ淡交会が産声を上げたのは、平成5年11月でした。この淡交会設立に先立ち、里田先輩からお呼びがかかり、吉松、高本、鶴飼、大島が、ユアエラムの「王府井」に集まり、何回か相談を重ねました。わが稲門会会員の中にゴルフ愛好家は沢山おられるし、ご家族の中にも大勢おられるだろう。楽しく、



かつできるだけ安い費用で、多くのひとたちが参加できる会として、しかも長く続く会にしようとの意見で一致しました。「淡交会」の由来は、里田会長が「君子の交わり、淡きこと水の如し」の故事に則り、命名されたものです。

平成5年頃は、今とは違い、ゴルフ場の予約を取るのが大変な時代でした。従い、会員の所属するゴルフ場を中心にしよという事になり、第1回淡交会コンペは、小生が所属する万木城カントリークラブにて開催することになりました。参加者は9名（里田、鈴木、谷内田、阿萬、大島、吉松、町田、高本、長の諸氏）で、新ペリア方式で競技を行いました。結果は、右の通り、優勝・阿萬さん、準優勝・鈴木さん、第3位は同ネット3名でしたが年齢優先で里田さんでした。

氏名	スコア
里田	78
町田	81
大島	83
鈴木	84
阿萬	85
高本	86
吉松	87
鶴飼	88
長	89

貴重なスコアボードが記録されていました

爾来、会を重ねること86回、淡交会の参加者は年々増え、人の輪は大きく広がり、稲門会活動の中心的存在となっていることは、大変喜ばしいことだと思います。ただ少々気になることは高齢化ですが、80代、70代、60代も楽しく元気で、助け合いの精神で、お付き合い頂ければ幸甚です。今後もより多くの方にご参加頂き、益々大きな人の輪となることを願っております。